

香川県ふるさと・水と土 保全対策推進委員会



令和5年8月25日
農村整備課

1

ふるさと・水と土保全対策事業



《構成》

I .ふるさと・水と土基金

II .棚田地域・水と土基金

III .その他関連事業

3

ふるさと・水と土保全対策事業



《目的》

- 中山間・棚田地域の農地や農業用施設の保全・利活用
- 中山間・棚田地域の有する多面的機能の発揮
- 地域住民活動の活性化や都市住民も交えた継続的な保全活動の推進



2

ふるさと・水と土保全対策事業



1 令和4年度事業報告

4

ふるさと・水と土保全対策事業

I .ふるさと・水と土基金



- (1) 中山間地域資源保全対策調査事業 (実績1,004千円)
- (2) 研修事業 (実績 640千円)
- (3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト (実績1,357千円)
- (4) ふるさと探検隊 (実績 283千円)
- (5) ふるさと水と土指導員活動 (実績1,800千円)
- (6) 多面的機能支払交付金広域化支援事業 (実績2,000千円) 5

I .ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

農村地域における現状調査や地域資源の保全・活用を通じた地域活性化策の検討を**大学と一緒に**行い、地域の活性化を目指す。

活動地区

- ▶ 観音寺市大野原町五郷地区(H22～24)
- ▶ 三豊市詫間町積地区(H25～27)
- ▶ 東かがわ市大内町水主地区(H28～30)
- ▶ 高松市庵治町庵治地区(R1～4)

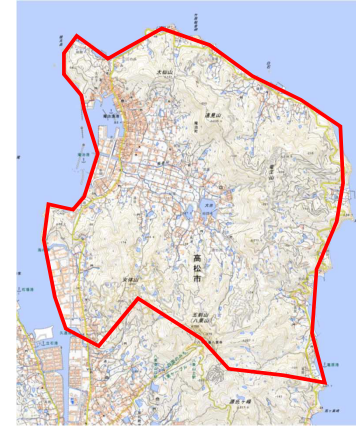
I .ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1～4)

《位置図》



I .ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1～4)

《目的》

R3までの成果を踏まえて地域住民の合意形成をはかり、地域活性化活動を行ううえでの**組織づくり**を行う。

地区住民の意見等を踏まえ、地区住民を中心とした活動主体の組織づくりを継続的に行うことで、今後の活動展開を踏まえた**地域活性化実施計画(案)**を作成する。

I .ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1~4)

《R4実施内容》

ア 意見交換会の実施

イ 地域活性化実施計画(案)の作成

9

I .ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1~4)

《R4実施内容》

ア 意見交換会の実施



11

I .ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1~4)

《R4実施内容》

ア 意見交換会の実施

- | | |
|--|--|
| ①2022年6月5日 第1回庵治なみらい創り対話会
(桜八幡神社) | ⑤2022年12月14日 意見交換会
(さざなみ亭) |
| ②2022年9月15日 五郷視察
(五郷水車) | ⑥2022年12月27日 庵治中学校へのヒアリング調査
(庵治中学校) |
| ③2022年10月10日 第2回庵治なみらい創り対話会
(純愛の聖地庵治・観光交流館) | ⑦2023年1月22日 第3回庵治なみらい創り対話会
(才田自治会館) |
| ④2022年10月30日 鎌野ミステリーウォーク
(庵治町鎌野) | ⑧2023年3月8日 意見交換会
(さざなみ亭) |

10

I .ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1~4)

《R4実施内容》

イ 地域活性化実施計画(案)の作成

- ・ 「庵治地域活性化協議会」から「**庵治わいみらいづくり隊**」へ改称
- ・ **新たな活動の提案**
 - 花いっぱい活動
 - 休耕田を活用した活動
 - 里山里海保全活動
 - 地域文化の継承復活活動

12

I.ふるさと・水と土基金

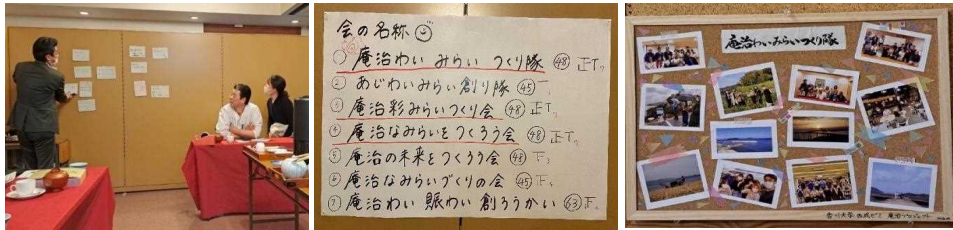


(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1~4)

《R4実施内容》

イ 地域活性化実施計画(案)の作成



13

I.ふるさと・水と土基金



(1) 中山間地域資源保全対策調査事業

高松市 庵治地区 (R1~4)

《今後の展望》



○ 休耕田を活用した活動



→ 棚田支援事業等で支援を検討

15

「庵治わいみらいづくり隊」会則(案)(以下のとおり)

(名称)
第1条 この会は、庵治わいみらいづくり隊(以下「会」という。

(目的)
第2条 本会は庵治地区が有する豊かな自然、農山漁村風景、伝統的な文化、風土を地域の大切な財産として尊重し、今後とも継承しながら新たな可能性を様々な人と連携協力することにより、地域の活性化、地域住民の幸福向上を図ることを目的とする。

(役員)
第3条 この会の役員は、以下のとおりとする。

(役員)
第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1) 地域活性化のための地域住民、関係団体と庵治地区の活性化の関心をもつ様々な団体、個人と連携協力してイベント等の企画、実施
(2) 地域活性化のための調査、研究、広報活動の実施
(3) その他、目的達成に必要な事業の実施

(事業)
第5条 この会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日までとする。

(会則)
第6条 この会の会則は、総会、運営委員会、幹事会として代表者がこれを招集し、その議長となる。
2 総会は通常総会および必要に応じて臨時総会を開催することができる。

(役員)
第7条 本会は、庵治地区内に居住する者および本会の目的に賛同する者を会員として組織する。

(役員)
第8条 本会に次の役員を置く。
(1) 代表者
(2) 幹事

(役員)
第9条 役員は運営委員会において選任する。
2 前項の選任は総会出席者の過半数の承認による。
3 役員は任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

附則
この会則は令和5年4月1日より施行する。

役員体制(案)
代表者 中西省吾
幹事 堀川貴美 溝淵 誠 増田富子 中村 潤 山地真紀
相談役 西成典久
運営委員 10人程度とする

活動資金(予算)
3月末日に決算を行い生じた剰余金については新たな組織に移譲する。今後は収入を確保しながら事業を継続する。

新たな組織上げまでのプロセス
3月21日に本会主催で実施する「第4回庵治なみらい創り対話会」の中で新たな会の名称を発表する。
4月初旬に新たな組織を設立スタートする。

令和5年度の具体的活動テーマ
① 庵治地域活性化協議会の名称も含めた組織の見直し、拡充
② 組織体制の強化のための会則づくり、体制づくり
③ 庵治なみらい創り対話会を通じて具体化した事業の実施
④ 庵治なみらい創り対話会の発展的継続

具体的活動項目
・地引き網体験の実施 10月28日(土)
・花いっぱい活動 令和5年度より正式開始(4年度先行スタート)
・休耕田を活用した活動(稲え付け履体験事業)継続実施
・里山里海事業 里山里海保全事業 継続実施
・地域文化の継承復活事業
・子どもの健全育成事業 継続実施



以上。

「庵治わいみらいづくり隊」の会則
組織体制・具体的活動項目などを記載

14

I.ふるさと・水と土基金



(2) 研修事業

全国研修会

《目的》

地域住民による共同活動(地域住民活動)の先進事例などを研修し、地域活性化させる人材(ふるさと水と土指導員等)を育成する。

《日程等》

日時: 令和5年1月23,24日
場所: 砂防会館(東京都千代田区)

《参加者》

年度	H30	R1	R2	R3	R4
人数	3	2	中止	中止	2

16

I .ふるさと・水と土基金



(2) 研修事業

全国研修会

《研修内容》

- ・農村RMOと持続的な地域づくり
- ・地域づくりのための活動事例～多面的機能支払活動組織より～
- ・環境保全活動を通じての地域づくり事例
- ・大学生との連携事例

《総評》

特に農村RMOの構築の事例を聞くことができ新鮮であった。**楽しく、自由に話をすることから組織づくりが始まる**ことが理解できた。



17

I .ふるさと・水と土基金



(2) 研修事業

県内研修会

《研修内容》

- ・現地の地域資源の視察
- ・庵治地区の地域活性化活動
- ・課題や感想の共有

《総評》

各地区で活動している皆さんが様々な方と交流することでモチベーションの向上につながった。



19

I .ふるさと・水と土基金



(2) 研修事業

県内研修会

《目的》

県内のふるさと水と土指導員や活動組織代表者の方々と地域の活動内容について**情報交換を図るとともに、県内の地域交流を深め、先進地事例を視察**することにより次年度の地区活性化活動の計画の参考とする。

《日程等》

日時:令和5年1月12日
場所:庵治コミュニティセンター(高松市庵治町)

《参加者》

地元活動団体:11名 香川大学学生11名 行政10名 計32名

18

I .ふるさと・水と土基金



(2) 研修事業

全国棚田(千枚田)サミット

《目的》

棚田の役割や重要性を再認識し、**棚田地域の様々な事例を共有**することで、各地で活動している地元団体の活動の参考とする。

《日程等》

日時:令和4年10月1,2日
場所:滋賀県高島市

《参加者》

「さぬきの棚田20選」のうち5地区より8名参加

20

I .ふるさと・水と土基金



(2) 研修事業

全国棚田(千枚田)サミット

《研修内容》

- ・棚田に関する基調講演
- ・パネルディスカッション
- ・現地の棚田視察



《総評》

県外の棚田地域の取組みが分かる貴重な機会となった。また、県内地区の皆さん同士が顔合わせすることもできた。



21

I .ふるさと・水と土基金



(3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト

《活用例》

写真コンテスト入賞作品の中からピックアップしてカレンダーを作成。



県の特産品を紹介

《効果》

県内の小学校、県民に配布したところ、問い合わせを受けるなど好評を得た。

月ごとの行事紹介



(226箇所、5600枚)

23

I .ふるさと・水と土基金



(3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト

《目的》

- ・農村の美しい自然や文化の再発見
- ・中山間地域が有する多面的機能のPR
- ・農村の現状、保全活動の重要性の再認識

《概要》

応募期間: R4.4.1~R4.11.30
 応募者数: 114 応募作品数: 293点
 審査会 : R5.2.6 入賞作品: 27点



応募数 年度別実績

年度	H30	R1	R2	R3	R4
応募者	100(4)	98(5)	108(4)	138(1)	114(5)
応募作品	291	261	303	358	293

()は県外

22

I .ふるさと・水と土基金



(4) ふるさと探検隊

《目的》

都市部の小学生を対象に土地改良施設の重要性を学習し、理解を深めること。

《開催日》

令和4年11月13日(日)

《参加者》

高松市内 21名(小学生12名・保護者9名)
 丸亀・坂出市内 23名(小学生13名・保護者10名)

参加者数 年度別実績

年度	H29	30	R1	R2~R3	R4
参加者数	73	61	61	中止	44
募集地域	高松・丸亀・坂出	高松・丸亀・坂出	高松・丸亀・坂出	中止	高松・丸亀・坂出

24

I .ふるさと・水と土基金



(4) ふるさと探検隊

《探検場所》

満濃池 → 香川用水記念公園 → 香川用水東西分水工
→ 豊稔池 → 五郷水車

満濃池



香川用水東西分水工



豊稔池



五郷水車



I .ふるさと・水と土基金



(5) ふるさと水と土指導員活動



手島地区(尾崎指導員)



堂谷東地区(東河指導員)



屋形崎地区(笠井指導員)



島が峰地区(高尾指導員)

I .ふるさと・水と土基金



(5) ふるさと水と土指導員活動

《目的》

地域住民活動の活性化を推進するため、「ふるさと水と土指導員」の地域保全・活性化活動等にかかる経費を支援。

観音寺市、綾川町、土庄町、丸亀市、まんのう町で6名が活動。



五郷地区(藤岡指導員)



笠滝地区(藤原指導員)

I .ふるさと・水と土基金



(5) ふるさと水と土指導員活動

《実績》

地区名	指導員名	活動日数(日)	年間延べ参加人数(人)
五郷	藤岡	62	1,330
笠滝	藤原	15	270
手島	尾崎	24	160
堂谷東	東河	5	220
屋形崎	笠井	8	116
島が峰	高尾	99	1,050
合計		213	3,146

《総評》

多くの活動機会が確保され、たくさんの方に活動に関わっていただけました。

I .ふるさと・水と土基金



(6) 多面的機能支払交付金広域化支援

《目的》

多面的機能支払交付金事業にて広域化・合併に伴い必要となる経費を支援し、**既存活動組織の広域化を推進**する。

《内容》

多面的機能支払交付金の活動組織に対して、**広域化・合併に伴い必要となる需用費や賃金などの経費について助成**。

《補助率等》

上限1,000千円／年 最大3年間

ふるさと・水と土保全対策事業 II .棚田地域・水と土基金



(7) 広報活動事業 (実績**1,441**千円)

(8) 保全活動支援事業 (実績**5,100**千円)

I .ふるさと・水と土基金



(6) 多面的機能支払交付金広域化支援

《令和4年度実施地区》

多面協定まるがめ(丸亀市) ... 7組織
たからだの里保全会(三豊市) ... 12組織



今年度も広域化に向けて推進中

II .棚田地域・水と土基金



(7) 広報活動事業

《目的》

季刊誌の配布や棚田カードの作成を通じて、地域住民や都市住民など**幅広く農業や農村に関心を持ってもらう**ことを目的とする。

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《新・田舎人》

年4回 計340冊各地へ送付



全国のふる水基金活動事例紹介



島が峰地区が掲載

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《さぬきの棚田20選写真撮影業務》

訴求力のある写真を撮影し、さぬきの棚田の魅力や価値を効果的に発信する素材とする。



Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《棚田アワードパネル》

さぬきの棚田アワード啓発パネルを製作



ギャラリーに展示

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業

《棚田カード》

情報発信の1つとして実施。昨年度は6地区追加作成。



Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(7) 広報活動事業

《棚田カード》

R5 島が峰と五郷の棚田に追加作成依頼

棚田地域	累計作成部数
中山千枚田	2,000
唐櫃の棚田	2,000
島が峰の段畑	1,000
五名の棚田	500
水主・原の棚田	500
小蓑の棚田	500
伊喜末の棚田	500
屋形崎の段畑	500
五郷の棚田	500

➡ +500部
➡ +1,000部

37

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(8) 保全活動支援事業

伊喜末地区・・・耕作放棄地に麦や野菜を耕作、また地区での
H30～ 交流イベントに対して助成。
(土庄町)

R4実績 収穫体験 大麦生産 産直市



39

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(8) 保全活動支援事業

住民組織が行う棚田地域等の保全活動や地域活性化活動に要した経費等の助成。

活動地区6地区

- ▶ 土庄町 伊喜末地区 (H30～)
- ▶ 高松市 上西地区 (H30～)
- ▶ 東かがわ市 水主地区 (R1～)
- ▶ 三木町 小蓑地区 (H30～)
- ▶ 三豊市 積地区 (H30～)
- ▶ 綾川町 綾上地区 (R3～)

38

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(8) 保全活動支援事業

上西地区・・・NPO塩江交流ボランティア協会と一緒になっ
H30～ て行っている茶栽培、交流イベント等を助成。
(高松市)

R4実績 茶・ソバ畑栽培 収穫祭 うたごえ喫茶



40

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(8) 保全活動支援事業

水主地区・・・中山間地域資源保全対策事業水主地区で作成された地域活性化計画を踏まえ、のぼりや(東かがわ市) 収穫祭などに対して助成。

R4実績 のぼり設置、看板設置、水主神社ライトアップ



41

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(8) 保全活動支援事業

積地区・・・中山間地域資源保全対策事業積地区で作成された地域活性化計画を踏まえ、マルシェや(三豊市) イベントに助成。

R4実績 登山道整備 苗植付 マルシェへの出店



43

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(8) 保全活動支援事業

小養地区・・・鳥獣害対策、農業体験、農園管理に対してH30～ 助成。(三木町)

R4実績 鳥獣害防止柵設置、農園管理、田植え体験



42

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(8) 保全活動支援事業

綾上地区・・・綾上町西分にある棚田地域における農地の保安全管理、地域のシンボルとなるクリスマスツリーの製作などを実施。(綾川町)

R4実績 棚田農園栽培管理、作業小屋の修繕



44

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(8) 保全活動支援事業



《実績》

地区名	活動回数(回)
伊喜末	16
上西	20
水主	21
小蓑	12
積	37
綾上	99
合計	205

《総評》

コロナ禍ではあったが、各地区で多くの活動が実施された。
今年度は更なる活性化が期待される。

45

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(8) 保全活動支援事業



《総評》

- ・ 4地区(伊喜末、上西、小蓑、積)が今年度終了
- ・ このうち指導員の要件を満たす3地区(伊喜末、上西、積)が指導員支援へと移行



継続は大いに歓迎！

46

ふるさと・水と土保全対策事業 Ⅲ. その他関連事業



(実績14,634千円)

- ・ 中山間地域等人材緊急確保事業 (農村整備課)
- ・ 農地維持管理省力化事業 (農村整備課)
- ・ 地域特用作物等産地支援事業 (農業生産流通課)
- ・ みんなで守る地域農業整備事業 (農業経営課)
- ・ 広報事業 (土地改良課)

47

表彰された優良事例



48

表彰された優良事例



つなぐ棚田遺産感謝状



棚田地域の振興等に貢献する企業・大学等の取組を評価し、優れた取組を実施する企業等に感謝状を贈呈する、農林水産省の取組み。

49

表彰された優良事例



つなぐ棚田遺産感謝状



対象棚田：中山千枚田（小豆島町）

（ポイントとなった活動）

- ・棚田アカデミーへの参加
→棚田での継続的な営農へ
- ・棚田米を用いたキャンペーンの実施



キャンペーンポスター



代掻き



畦塗り



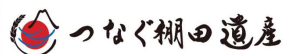
田植え

51

表彰された優良事例



つなぐ棚田遺産感謝状



《特別感謝状贈呈企業等》

タケサンフーズ株式会社（小豆島町）

50

表彰された優良事例



ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード

ディスカバー 農山漁村の宝

農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るものです。

52

表彰された優良事例



ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード

《奨励賞》

ディスカバー 農山漁村の宝

株式会社山南営農組合(三木町)

53

表彰された優良事例



農業農村整備事業広報大賞

農村振興の重要性や社会的意義について国民一般から広く理解を得るための地域活動や広報活動を行ったもので、その成果が特に優れていると認められるものに対し、表彰を行う。

55

表彰された優良事例



ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード

対象棚田:小蓑の棚田(三木町) ディスカバー 農山漁村の宝

(ポイントとなった活動)

- ・住民原則全参加とする営農組合の設立
- ・管理農地の拡大
- ・ブランド米「小蓑米」の生産
- ・大学生や地域おこし協力隊が参画
- ・農泊の実施



54

表彰された優良事例



農業農村整備事業広報大賞

《優秀賞》

五郷里づくりの会(観音寺市)

56

その他の国などの表彰事業



農業農村整備事業広報大賞

対象棚田：五郷の棚田（観音寺市）

（ポイントとなった活動）

- ・五郷水車の復活
- ・里山歩き
- ・百笑人イベント
- ・グリーンツーリズム



57

事業実施計画に対する進捗状況



達成すべき目標	指標	基準値 (R1実績)	目標値	年度ごとの実績				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
I 農地及び農業用施設 の維持・保全・管理活動 を通じた多面的機能 の発揮	応募者数の増加	<③写真コンテスト> 応募枚数261枚	平均応募数を1割増やす。 目標295枚	303	358	293		
		<④探検隊> 応募者数179人	平均応募者数を1割増やす。 目標135人			78		新型コロナウイルス感染症により、規模縮小して開催
II 中山間地域の地域住民活動による地域の維持・活性化の実現	地域活性化を図る指導員の発掘及び増加	<①中山間地域資源保全対策事業> 地域活性化計画の策定 0地区	5年間で地域活性化計画を2地区策定する。	0	0	1		
		<②指導員育成研修事業> 研修派遣 1名	研修会に5年間で10名派遣する			2		
		<⑤指導員> 4名	5年間で指導員を5名増やす。	0	0	2		
III 棚田の保全及び地域の振興	地域活性化を図る地区の発掘及び増加	<⑥広報活動事業> 棚田カード2地区	5年間で実施地区を増加させる。	1	0	9		
		<⑦棚田支援> 支援地区 7地区	毎年7地区を支援する。	7	8	6		

表1 実績表

59

事業実施計画に対する進捗状況



事業実施計画に対する進捗状況



●写真コンテスト応募枚数 **293/295** 枚

→目標近くの数字なので継続して推進

●ふるさと探検隊応募者数 **78/135** 人

→行動制限がなくなったので、回復できるよう推進

58

60

事業実施計画に対する進捗状況



●地域活性化計画作成 1/2 地区

→庵治が策定されたので、引き続き次の地区にて取り組む

●指導員育成研修事業 2/10 人

→行動制限がなくなったので、今年度は多くの方に行ってもらえるよう呼びかけ

61

事業実施計画に対する進捗状況



●棚田地域等保全活動支援地区 6/7 地区

→過去3年間の平均は7地区であるが、目標達成できていないので、さらに推進を行う。

63

事業実施計画に対する進捗状況



●指導員 6/9 人

→今年度3名追加されたため、順調にいくと目標達成

●棚田カード・ガイド 9/4 地区

→目標は達成したが、「さぬきの棚田20選」の全地区を作成する。

62

ふるさと・水と土保全対策事業



2 令和5年度事業計画

64

ふるさと・水と土保全対策事業

I .ふるさと・水と土基金



- | | R5当初 | R4当初 |
|--------------------------|---------|-----------|
| (1) 中山間地域資源保全対策調査事業 | 1,100千円 | (1,600千円) |
| (2) 研修事業 | 759千円 | (1,269千円) |
| (3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト | 1,621千円 | (1,500千円) |
| (4) ふるさと探検隊 | 370千円 | (370千円) |
| (5) ふるさと水と土指導員活動 | 3,600千円 | (1,800千円) |
| (6) 多面的機能支払交付金広域化支援事業 | 2,000千円 | (2,000千円) |

65

I .ふるさと・水と土基金

(1) 中山間地域資源保全対策調査事業



R5年度実施地区については府中地区(坂出市)を予定。

1年目は地元のアンケートや地区の現地調査を行うとともに、地区住民有志との意見交換会を実施する。

66

I .ふるさと・水と土基金

(2) 研修事業



全国研修会

農政局より昨年度と同様に農山漁村振興交付金事業の農村RMO(農村型地域運営組織)全国研修会として行われる見込みとのこと。

県内研修会

12月頃を予定。地区については現時点では未定。

全国棚田(千枚田)サミット

今年度は11月18日、19日和歌山県那智勝浦町にて開催予定。さぬきの棚田20選の保全管理団体の関係者のうち希望者を派遣する。

67

I .ふるさと・水と土基金

(3) かがわの農村・ふるさと景観写真コンテスト

第23回の写真コンテストを実施

(4) ふるさと探検隊

11月に実施する予定

(5) ふるさと水と土指導員活動費用助成

昨年度より伊喜末、上西、積地区にてそれぞれ1名追加
今年度は8名で実施

(6) 多面的機能支払交付金広域化支援事業

多面協定まるがめ(丸亀市)
たからだの里保全会(三豊市) の2地区に対して補助



68

ふるさと・水と土保全対策事業

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金



(7) 広報活動事業

R5当初 R4当初

4,350千円 (3,300千円)

(8) 保全活動支援事業

4,200千円 (6,100千円)

69

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(8) 保全活動支援事業



活動地区5地区(6地区→5地区)

- | | | | |
|---------|---------|---|------|
| ▶ 東かがわ市 | 水主地区 | ➡ | 継続地区 |
| ▶ 綾川町 | 綾上地区 | | |
| ▶ 高松市 | 音川・炭谷地区 | ➡ | 新規地区 |
| ▶ 東かがわ市 | 笠松地区 | | |
| ▶ 三木町 | 井上北部地区 | | |

71

Ⅱ. 棚田地域・水と土基金

(7) 広報活動事業



新・田舎人

年4回計340冊各地へ送付

棚田カード・ガイド作成

「さぬきの棚田20選」のうち、未作成地区(11地区)について作成予定。

棚田ライトアップ

棚田の素晴らしさを啓発・発信するための事業。
実施に向けて現在調整中。

70

ふるさと・水と土保全対策事業

Ⅲ. その他関連事業



R5当初 R4当初

17,581千円 (16,513千円)

- ・中山間地域等人材緊急確保事業 (農村整備課)
- ・農地維持管理省力化事業 (農村整備課)
- ・かがわの農泊推進事業 (農村整備課)
- ・地域特用作物等産地支援事業 (農業生産流通課)
- ・みんなで守る地域農業整備事業 (農業経営課)
- ・広報事業 (土地改良課)

72



3 昨年度からの対応事項等



(1) 情報発信の充実

- ア HPにて「さぬきの棚田20選」のイベント予定表を掲載
- イ 参加したイベントなどのレポートをFacebookに掲載

課題点



- (1) 情報発信の充実
- (2) 若者・女性・多様な人材の取り込み
- (3) 教育機関との連携
- (4) 地域の所得向上



(1) 情報発信の充実

▶「さぬきの棚田20選」HP(一部抜粋)

No.	山名	所在地	特徴
1	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
2	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
3	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
4	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
5	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
6	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
7	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
8	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
9	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
10	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
11	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
12	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
13	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
14	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
15	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
16	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
17	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
18	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
19	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田
20	山崎の棚田	さぬき市	山崎の棚田

課題点と対応

(1) 情報発信の充実

▶Facebook『かがわの農村』



▶ R5年8月23日現在
フォロワー数577人



77

課題点と対応

(1) 情報発信の充実

▶Instagram『かがわ農カメ』 農村活性化にかかる情報を発信 写真を主に掲載



香川県農村整備課公式Instagram
『かがわ農カメ』始めました



▶ R5年8月23日現在
フォロワー数551人



79

課題点と対応

(1) 情報発信の充実

▶Facebook『かがわの農村』



78

課題点と対応

(2) 若者・女性・多様な人材の取り込み

ア 大学生との連携

イ 地域おこし協力隊との連携



80

課題点と対応

(2) 若者・女性・多様な人材の取り込み



ア 大学生との連携

- ・ 小養地区 →大学生が運営するカフェ
- ・ 五郷地区 →大学の研究室の研修会
- ・ 島が峰地区 →大学生とのそば栽培



81

課題点と対応

(3) 教育機関との連携



- ・ 水主地区 →大内小学校でのかまど炊き指導
- ・ 伊喜末地区 →小学生を対象とした食育活動
- ・ 小養地区 →高校生や中学生との田植え体験
- ・ 島が峰地区 →子ども政策課主催の体験イベント実施



83

課題点と対応

(2) 若者・女性・多様な人材の取り込み



イ 地域おこし協力隊との連携

- ・ 府中地区 →これからの組織づくりのメンバーに
- ・ 中山地区 →中山棚田活性化推進員として活動
- ・ 島が峰地区 →元地域おこし協力隊がメンバー加入

課題点と対応

(4) 地域の所得向上



- ・ 水主地区 →水主米の販売
- ・ 伊喜末地区 →とうがらしみその販売
- ・ 小養地区 →小養米の販売
- ・ 島が峰地区 →島が峰そばの販売
- ・ 上西地区 →お茶の販売



82

84

ご清聴ありがとうございました。



森行の棚田(さぬき市大川町)